



六ヶ所村ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が要因とみられる気候変動により、世界各地で自然災害が頻発化・激甚化しております。

2015年に合意されたパリ協定では、世界共通の長期目標として、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」が掲げられ、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、「気温上昇を1.5℃に抑制することには明らかな便益があり、そのためには、2050年頃に二酸化炭素排出量を正味ゼロにする必要がある」とされております。

また、2020年10月、政府は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指すことを宣言しました。

本村においても、先人から受け継がれた大切な自然を守り、育て、次世代へ引き継いでいくとともに、全国でも類を見ないエネルギーの集積地として、その役割を果たすべく、村民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策を進め、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

令和4年12月2日

六ヶ所村長 戸田 衛